

家庭教育講演会

1 目的

・家庭は基本的な倫理観や人間形成の基礎を培う大切な場である。また、子育てには地域の力も大きく関わりがある。家庭教育力と地域力向上の観点から、脳科学からみた子育てに関する情報や学習機会を提供する。

2 日時・会場・参加人数

令和7年1月28日(火)13:30~15:30 松戸市立六実中学校
当日参加者 一般66名 児童・生徒493名 計559名
(松戸六実中1、2年生 六実小・六実二小・六実三小6年生)



3 内容

(1)開会 松戸市教育委員会 波田 寿一 教育長 挨拶
松戸市立六実中学校 服部 仁典 校長 挨拶

(2)研修

講演会 13:30~15:30

演題「脳科学が解き明かした～元気な脳と子どもの未来～」

講師 東北大学 加齢医学研究所 教授

川島 隆太 氏



(3)質疑応答

(4)閉会

4 概要

松戸市在住、在勤の方を対象に、東北大学加齢医学研究所 川島隆太教授による「家庭教育講演会」を開催し、脳科学や認知科学のデータをもとに家庭教育に大切なことについて講演いただきました。

今年で10回目となる川島教授による講演会を、今年度も平日開催とし、小中学生も脳科学のデータを基にした講演を直接聞くことが出来る機会となりました。データを基にした講演に、子どもたちも真摯に聞き入る様子が見られ有意義な講演となりました。質疑応答の時間には川島教授も、多くの児童生徒の質問に対して、一つ一つ丁寧に、しかも温かく答えていただきました。

町内の掲示板をみて講演を聞きに来たという方もおられ、地域の方の教育に関する高さもうかがえました。今後も学校・家庭・地域が連携して教育力を高める行事を企画・運営していかなければならないと、気持ちも新たに作る機会となりました。

5 参加者の主な感想

- ・自分のルールは自分で決める。先生や親の言いなりにならない。大人のせいにならないというメッセージを現役の生徒さんに伝えていたことが印象的でした。うちの子どもたちも連れてきたかったです。
- ・子ども自身でも見つめなおす、親にもできることは協力する、という姿勢を親としても改めて見直すことが出来ました。日々子どもにガミガミ言うより川島先生の言葉の重みが子どもに響いてくれるといいなと思います。
- ・幼児～小学生までは当たり前になっていたこと(朝ごはん、睡眠)が最近できていなかったの、初心に戻って頑張りたいです。今日からスマホの時間を減らします。
- ・朝ごはん、糖分だけではなく、主菜(おかず)をとらないといけないというのが新しい発見でした。明日から、もっとバランスを考えた朝食を用意しようと思います。また、子どもと合わせて自分自身もスマホメディアとの付き合い方を改めていこうと思います。